

く分布しているものと推定される。

佐沼地区模式柱状図

地質時代	地層名	柱状図	厚さm	地質	備考
第四紀	表土		< 2	粘土・細砂	一部泥炭(軟)
	氾濫原堆積層		< 10	中粒砂	軟弱層
	低湿地堆積層			有機質粘土	
	扇状地堆積層		< 30	砂 (礫混り粘土層を含む)	帯水層
第三紀	鮮新世			凝灰質砂岩 頁岩	帯水層

4) 江合川水系地下水盆(大崎平野地域)

本地下水盆の範囲は、江合川と鳴瀬川の流域で大崎平野を中心とする地域であり、北は築館丘陵、西は玉造丘陵、加美丘陵、東は篁岳丘陵、旭山丘陵、南は大松沢丘陵をはさみ富谷丘陵までの間とする。特徴としては、江合川と鳴瀬川の氾濫原で上流から下流に緩く傾斜していること、両河川の間に平行して自然堤防が形成されているため低湿地となっていることである。古川市を中心とする地域が、最も典型的な地下水盆となっている。

古川地区模式柱状図

地質時代	地層名	柱状図	厚さm	地質	備考
第四紀	表土		5~10	有機物まじり粘土	古川周辺に分布し泥炭層厚2m内外
	氾濫原堆積層			(泥炭層をはさむ)	
	低湿地堆積層		10~15	粘土・シルト (細砂層・有機物含む)	軟弱層
	扇状地堆積層		30~40	砂礫 (砂・砂質シルト層をはさむ)	帯水層
第三紀	鮮新世			凝灰質砂岩 砂岩	帯水層